

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	長野市篠ノ井愛の樹園		
○保護者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和7年12月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもさんの年齢や状態にあった支援	同じ地域にある法人内の児童発達支援事業所と連携して年齢や状態に合わせて2事業所で4つのクラスを作っています。	今年度より、連携している事業所の児童発達支援が単独で10名定員に増員しました。より子どもさんに合った小集団作りをして充実を図りたいと考えています。
2	併用利用児の積極的受け入れ	保育園等への訪問を含め連携を大切に保育園等への完全移行を進めています。	完全移行の際、利用児がより充実した園生活を送れるように、保育園等とのより良い連携の在り方を検討、充実させていきたいと考えています。
3	個別支援計画のPDCAサイクルの実施	年に2度のクラス休園日を設け、臨時職員も参加した個別支援計画に係る関係者会議を実施しています。	専門職のモニタリングも加え、支援計画の進捗状況を的確にとらえ、次の支援計画を作成していくことによって支援の充実につなげていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同世代のこどもとの地域交流	利用児の5割以上が保育園等との併用利用児で、小集団として特別な機会を設けることが難しい状況です。	同世代のこどもとの地域交流についてどのような機会を作ることが発達支援にとって有効なのかを検討していきたいと考えています。
2			
3			